

VOCALOID™ Keyboard マニュアル

目次

Introduction

開発チームのメッセージ

特長

アプリとキーボードの接続

アプリをダウンロードする

無線接続する (Bluetooth)

Bluetooth 機能をオフにする

アプリ画面とキーボードのディスプレイ

アプリ画面の基本操作

キーボードのディスプレイのみかた

VOCALOID

歌声の準備

シンガーを購入する

歌声を調整する (メモリー、メモリーセット)

歌声パラメーター

キーボードに保存する

キーボードで選ぶ

歌詞の準備

プリセット歌詞リスト

作詞する

フレーズ入力 / ループ入力 / キーオフ発音

キーボードに保存する

キーボードで選ぶ

歌わせる

キーボードを弾く

フレーズ移動

ループ操作

歌声のスキル

エフェクト

Instruments

楽器音色

楽器音色を調整する (メモリー、メモリーセット)

楽器音色パラメーター

キーボードに保存する

キーボードを弾く

楽器音色のスキル

Settings

端子の使いかた

PHONES はヘッドフォンで練習するとき

AUX IN はカラオケと一緒に歌わせるとき

LINE OUT はライブで大音量を出すとき

USB TO DEVICE はアップデートのとき

USB TO HOST は…

スマートデバイスと USB 接続するとき

MIDI キーボードとして使うとき

全体設定

Appendix

困ったときは

MIDI インプリメントチャート

VOCALOID Keyboard は、「VOCALOID をもっと気軽に楽しめるものを作りたい」という想いを持った若手社員の活動から始まり、試行錯誤の開発期間を経て、ついに商品化されました。

VOCALOID の新たなスタイル

多くの方に VOCALOID を使って楽しんでもらいたい。そのために、楽曲制作のような高度な音楽知識を必要とせず、誰もが気軽に楽しめる楽器を目指しました。歌詞をセットしキーボードでメロディーを演奏するだけで、お気に入りの VOCALOID シンガーの歌声を奏でることができます。

様々な音楽シーンで

VOCALOID Keyboard は、あらゆる音楽パフォーマンスシーンで VOCALOID の使用を可能にします。バンド演奏、SNS、動画サイトへの動画投稿など、新たな音楽表現や楽しみ方をご提供します。

パートナーのような存在として

背負ったときのたたずまいや、抱えたときの質感など、ユーザーが愛着と信頼を持って接することができる楽器を目指しました。VOCALOID Keyboard が皆様の音楽の楽しみ方を広げてくれるものと期待しています。



ヤマハ
ぼかろきい開発チーム
はま P

1

VOCALOID を演奏しよう (23 ページ)

VOCALOID Keyboard は歌声合成エンジン VOCALOID を使って、リアルタイムに歌声を奏でることができる楽器です。鍵盤で音程をとることで歌わせることができます。

また、ピッチベンドホイールやエクスプレッションホイール、スキルボタンなどを使えば、豊かな表情をつけて歌わせることができます。

2

アプリと楽しもう (4 ページ)

VOCALOID Keyboard には専用アプリ (iOS/Android) があります。

アプリと Bluetooth 接続 (もしくは USB ケーブル接続) することで、歌声ライブラリの追加、歌詞の編集、メモリーセットの編集など、より楽器をお楽しみいただけます。

3

好きな歌詞を歌わせよう (17 ページ)

VOCALOID Keyboard には、あらかじめ 5 曲の歌詞が内蔵されています。これらの曲をぜひ弾きこなしてみてください。

内蔵曲だけでなく、アプリで好きな歌詞を編集し楽器に保存することで、自分の好きな曲を歌わせることができます。

4

ライブで使おう (33 ページ)

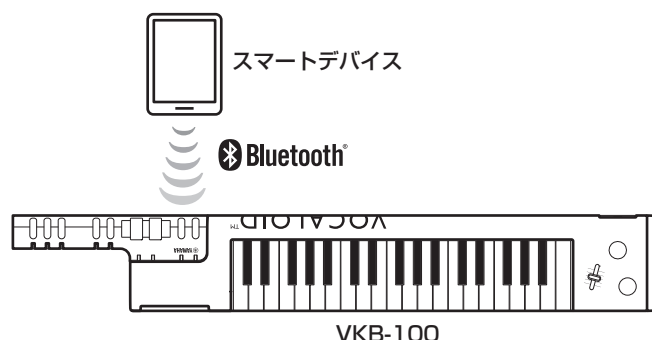
VOCALOID Keyboard には、外部スピーカーやミキサーに接続するための LINE OUT (モノ) 端子がついています。VOCALOID Keyboard をボーカルの代わりに歌わせることができます。

5

カラオケ音源と演奏しよう (32 ページ)

VOCALOID Keyboard には AUX IN 端子がついています。スマホなどオーディオプレーヤーを接続することで、キーボードの音とカラオケ音源を、同じスピーカーやヘッドフォンなどでお楽しみいただけます。

アプリを使うと、シンガーを追加したり、オリジナルの歌詞を作ったりすることができます。スマートデバイスに専用アプリをダウンロードして、キーボードと Bluetooth 接続しましょう。



アプリをダウンロードする

専用アプリ（無料）は、iOS 版または Android 版があります。



VOCALOID Keyboard

（無料アプリ *シンガーは 1 人追加まで無料、それ以降有料）



NOTE

アプリおよび対応デバイスについて詳しくは <http://jp.yamaha.com/kbdapps/> をご覧ください。
（サイトで「VOCALOID Keyboard」で検索）

Introduction

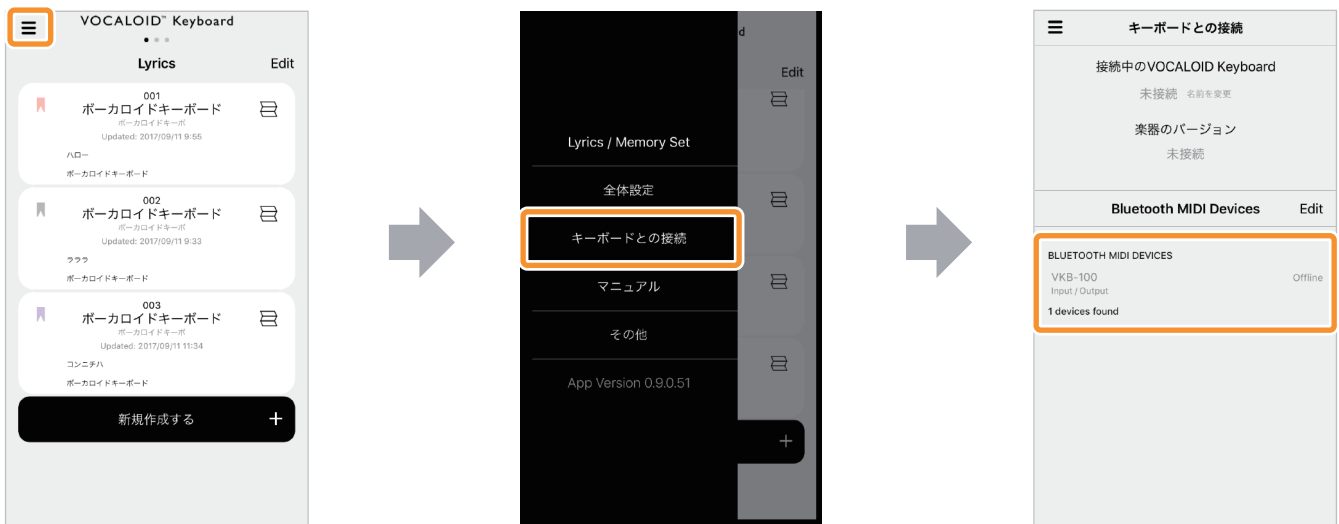


無線接続する (Bluetooth)

NOTE

Bluetooth 無線接続ができない場合は USB ケーブルを使って有線で接続することもできます。(36 ページ)

1. キーボードの電源を入れる。
2. スマートデバイスの Bluetooth 機能をオンにする。
3. アプリのメニュー [キーボードとの接続] を選ぶ。
4. リストからキーボードを選ぶ。
接続が完了すると、「Connected」と表示されます。



5. 自分のキーボードに名前をつける。
キーボードの名前を入力しておく、次に接続するときに便利です。



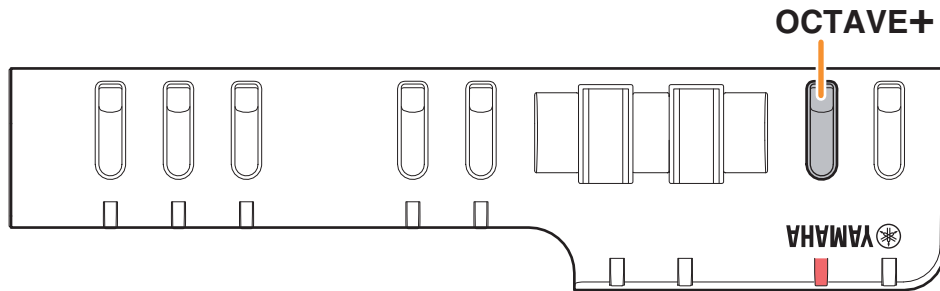


Bluetooth 機能をオフにする

Bluetooth 接続を使わないときは、キーボードの Bluetooth 機能自体をオフにして、不必要な接続を防ぐことができます。

1. OCTAVE+ ボタン長押しで ON/OFF

キーボードのディスプレイで、Bluetooth 機能の ON/OFF が確認できます。





アプリ画面の基本操作

主な 3 画面

Lyrics	歌詞の編集
VOCALOID Memory Set	シンガーの歌声の編集
Instrument Memory Set	楽器音色の編集

メニューボタン (☰)

タグ(Lyrics画面のみ) (📌)
色で見やすく管理できます

Editボタン(iOS版のみ) (Edit)

折りたたみ(Lyrics画面のみ) (☰)
歌詞の全表示 / 一部表示を切り替えます

各アイテム (Item card)

(例: Lyrics画面)

アイテムの追加、削除、および並び替えの方法は、3画面で共通です。

■ iOS

追加：最下部の [新規作成する] をタップ

削除：[Edit] ボタン → [-] マークをタップ

並び替え：[Edit] ボタン → [≡] マークを長押ししながら移動

■ Android

追加：最下部の [新規作成する] をタップ

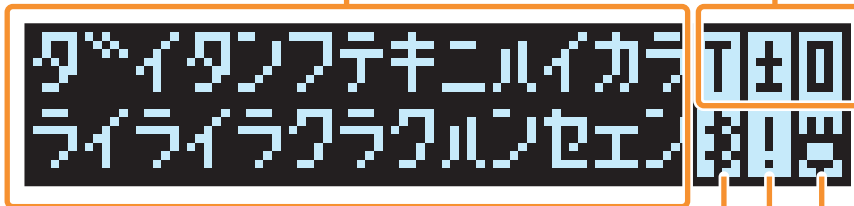
削除：アイテムをタップ → 設定画面で「削除」をタップ

並び替え：アイテムを長押しして、ドラッグして移動



キーボードのディスプレイのみかた

操作に応じていろいろな情報を表示



トランスポーズ

- T-1 : 半音下げ
- T±0 : トランスポーズなし
- T+1 : 半音上げ

Bluetooth 機能

キーボードの Bluetooth 機能がオンのときに表示 ([6 ページ](#))

電源

(アダプターまたは電池残量)

過電流

↔ TO DEVICE に過電流が流れたときに表示 ([41 ページ](#))



シンガーを購入する

キーボードには、あらかじめ1人のシンガー（VY1）が入っています。さらに、もう1人は無償で追加できます。

NOTE

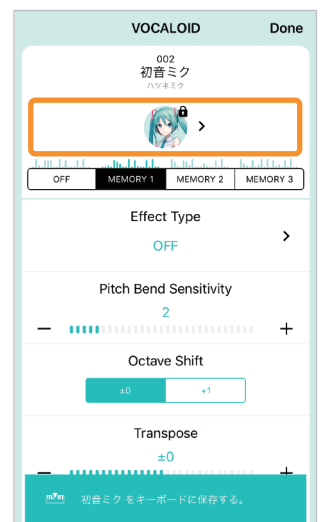
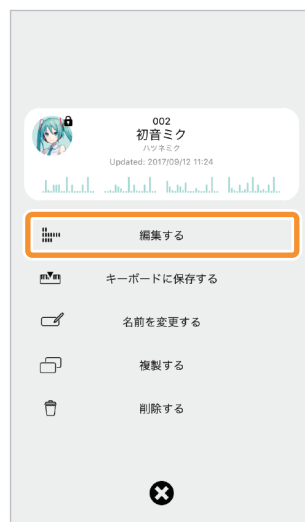
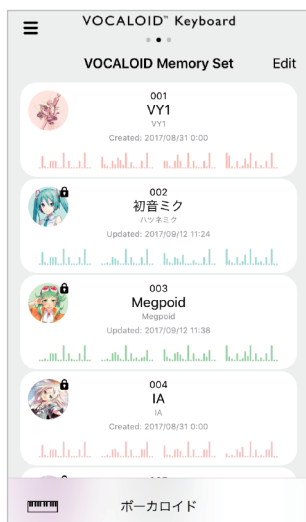
一度購入したシンガーは、アプリやキーボードの電源をOFFにしたり初期化しても保存されます。

購入するまえに…

キーボードを電源アダプターに接続してください。

シンガーの購入が完了したタイミングで、キーボードが再起動して歌声が使えるようになります。

1. **アプリとキーボードを接続する。**
2. **メニュー [Lyrics/Memory Set] → 画面スワイプで、VOCALOID Memory Set 画面を表示させる。**
 歌声メモリーセットのリストが表示されます（メモリーセットについては次のセクションで説明します）。アプリとキーボードを接続した状態では、購入前のシンガーに鍵マークが表示されます。
3. **編集したい歌声メモリーセットをタップする。**
 設定画面が表示されます。
4. **「編集する」をタップする。**
 編集画面が表示されます。
5. **シンガーのアイコンをタップする。**
 シンガー選択画面が表示されます。



6. シンガーを選んで購入手続きをする。

シンガー選択画面でシンガーのアイコンをタップすると、課金画面へ移動します。画面の指示に従って購入します。



NOTE

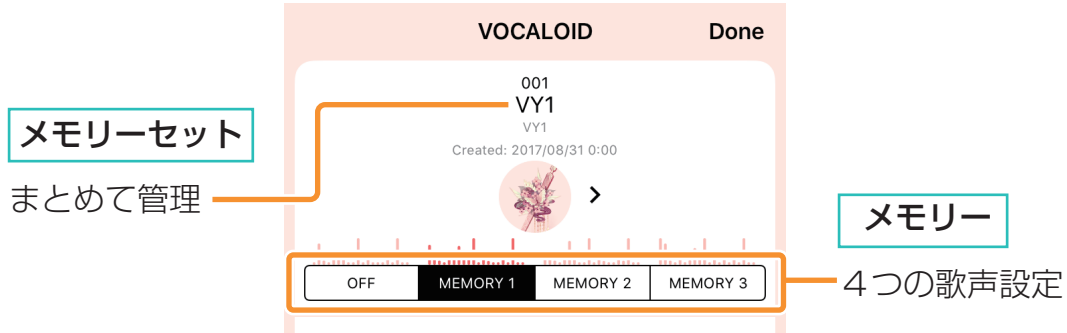
アプリとキーボードを接続した状態では、シンガーの購入が完了したタイミングでキーボードが再起動し、購入したシンガーの歌声が使えるようになります。



歌声を調整する（メモリー、メモリーセット）

メモリー、メモリーセットとは？

シンガーの歌声設定を「メモリー」と呼びます。メモリーは、4つをまとめた「メモリーセット」として保存されます。

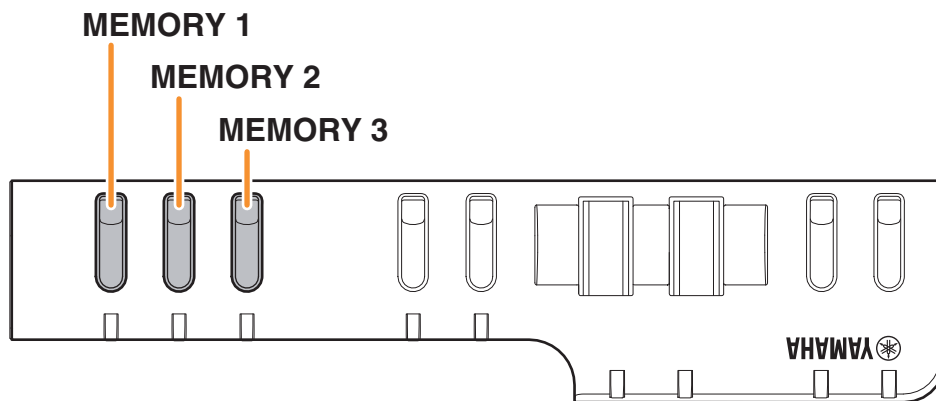


NOTE

1つのメモリーセットに複数のシンガーの歌声を保存することはできません。

なぜ歌声（メモリー）をセットにするの？

それは、演奏中にシンガーの歌声（メモリー）をすばやく切り替えるのに便利だからです。演奏中にキーボードのメモリーボタンを押すだけで4つの歌声（メモリー）を使い分けることができます。



すべてのメモリーボタンが消灯 = **MEMORY OFF** の歌声を選択している状態

メモリーセットをうまく使えば、1曲の中で、または複数の曲で、1人のシンガーでも表現豊かな歌声を奏でることができます。

ここでは、歌声メモリーセットを新規作成するところから説明します。すでにある歌声メモリーセットを調整するには、手順 5. からお読みください。

1. **メニュー [Lyrics/Memory Set] → 画面スワイプで、VOCALOID Memory Set 画面を表示させる。**
歌声メモリーセットのリストが表示されます。
2. **最下部の「新規作成する」をタップする。**



3. **タイトルを入力して「OK」をタップする。**
4. **タイトルをカタカナで入力して「OK」をタップする。**
リストに新しいタイトルが追加されます。

NOTE

カタカナのタイトルは、キーボードのディスプレイ表示用です。

5. **VOCALOID Memory Set 画面で、歌声メモリーセットを選択する。**
設定画面が表示されます。
6. **「編集する」をタップする。**
編集画面が表示されます。

NOTE

アプリとキーボードを接続している場合は、このタイミングで編集中のメモリーセット情報がキーボードに一時的に転送されます。

7. **メモリーのタブをタップする。**
選択した歌声（メモリー）に関するパラメーターが表示されます。



8. パラメーターを調整する。

TIPS

MEMORY OFF には標準的な歌声、MEMORY 1 ~ 3 にはシンガーの特徴をいかした歌声があらかじめ設定されています。それぞれの初期値をもとに、お好みで調整してください。

9. 「Done」をタップして終了する。

歌声パラメーター

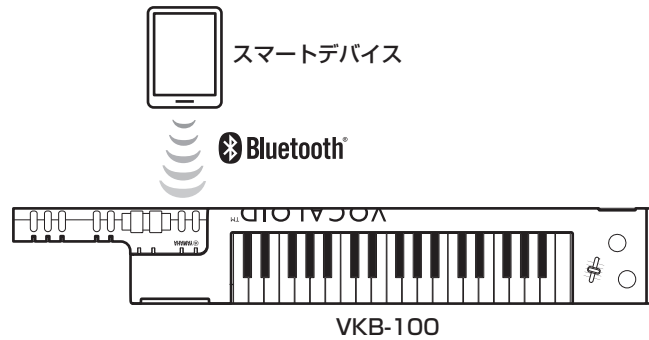
パラメーター名	説明	設定値と変化
Effect Type エフェクトタイプ	歌声にかけるエフェクトタイプを選択します。 ※キーボードのエフェクトノブでも調整できます。	OFF : エフェクトなし REVERB : 声に残響音を加える DISTORTION : 声をひずませる CHORUS : 声に厚みを加える TREMOLO : 声を小刻みにする
Effect Depth エフェクトデプス	エフェクトタイプで選択したエフェクトのかかり具合を調整します。	—  + 浅い 深い
Pitch Bend Sensitivity ピッチベンドセンシティビティ	キーボードのピッチベンドホイールで調整できるピッチ範囲を調整します。	—  + 変化なし 1オクターブ
Octave Shift オクターブシフト	音の高さ（ピッチ）を1オクターブ上げます。 ※キーボードのオクターブボタンでも変更できます。	± 0 : 変化なし +1 : +1 オクターブ
Transpose トランスポーズ	音の高さ（ピッチ）を半音単位で上げ下げします。 ※キーボードのトランスポーズボタンでも変更できます。	—  + 下がる 上がる (最大±1オクターブまで)
Gender Factor ジェンダーファクター	声のキャラクターを変化させます。 ※キーボードのセレクトスライダー「GENDER」→ セレクトノブでも調整できます。	—  + 女性的 男性的
Brightness ブライトネス	声の明るさを変化させます。	—  + 落ち着いた声 明るい声
Clearness クリアネス	歌声の高音域を調整して、声のつやを表現します。	—  + 通常の声 シャープで澄んだ声

パラメーター名	説明	設定値と変化
Breathiness ブレシネス	声のブレス（息）を変化させます。	—  + 通常の声 息がまじった声
Opening オープニング	口の開き具合を調整します。	—  + 閉じている 開いている
Delay Mode ディレイモード	音節の歌いだし（最初の子音の長さ）を調整するか、固定値を使うかを選択します。	Fader：自分で調整するモード Fixed：プリセットの子音の長さで固定します。長さはシンガーによって異なります。
Delay Time ディレイタイム	（ディレイモード＝Fader時のみ）音節の最初の子音の長さを調整します。	—  + 短い 長い
Decay Time ディケイタイム	鍵盤を離してからの余韻の長さを調整します。 ※キーボードのセレクトスライダー「DECAY」→セレクトノブでも調整できます。	—  + 余韻が短い 余韻が長い
Portamento Timing ポルタメントタイミング	音程を移動するタイミングを調整します。	—  + 遅れなし 移動が遅い
Vibrato Type ビブラートタイプ	ビブラートのタイプを選択します。	Normal：標準的な揺れ Extreme：演歌のような揺れ Fast：張りのあるシリアスな揺れ Slight：繊細な音程の揺れ
Vibrato Rate ビブラートレート	ビブラートタイプで選択したビブラートの速さを調整します。	—  + 遅い 速い
Vibrato Depth ビブラートデプス	ビブラートタイプで選択したビブラートの深さを調整します。	—  + 浅い 深い
Vibrato Delay ビブラートディレイ	歌いだしてから、ビブラートがかかりはじめるまでの時間を調整します。	—  + かかりが速い かかりが遅い
Skill Type 1 スキルタイプ 1	キーボードのスキルボタン 1 で ON/OFF するスキルを選びます。	Type A：「しゃくり」風 Type B：「こぶし」風 Type C：「巻き舌」風 Type D：ビブラート
Skill Type 2 スキルタイプ 2	キーボードのスキルボタン 2 で ON/OFF するスキルを選びます。	



キーボードに保存する

歌声（メモリーセット）をキーボードに保存します。あらかじめスマートデバイスとキーボードの Bluetooth 接続（または USB 接続）を済ませておく必要があります。



- 1. VOCALOID Memory Set 画面で、メモリーセットを選択する。**
設定画面が表示されます。
- 2. 「キーボードに保存する」をタップする。**
キーボードの保存スロット 1 ~ 20 が表示されます。
キーボードには 20 個までメモリーセットを保存できます。



- 3. スロットを指定する。**
メモリーセットがキーボードに保存されます。
すでにメモリーセットデータが入っているスロット番号を選択した場合は、新しいメモリーセットに上書きされます。

NOTE

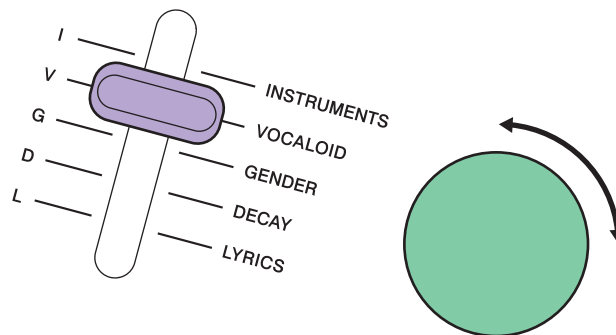
キーボードに保存されたメモリーセットは、キーボードの電源をオフにしても残ります。



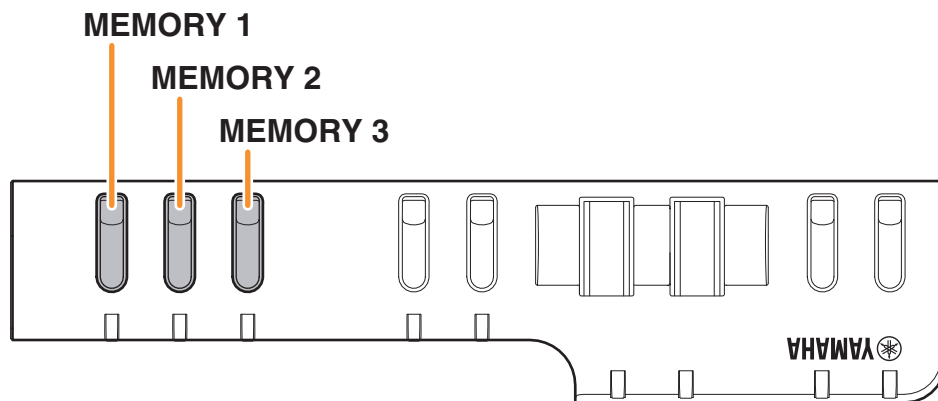
キーボードで選ぶ

キーボードで歌声を選択するには、メモリーセットを選択し、その中から歌声（メモリー）を選択します。

1. セレクトスライダーで「VOCALOID」を選択する。
2. セレクトノブを回してメモリーセットを選択する。
選択したメモリーセット名がディスプレイに表示されます。



3. メモリーボタンでメモリーを選択する。



すべてのメモリーボタンが消灯 = **MEMORY OFF** の歌声を選択している状態



プリセット歌詞リスト

キーボードには、あらかじめ5つの歌詞が入っています。プリセット歌詞は、削除してもキーボードを初期化することで復元できます。

NOTE

キーボードを初期化すると、キーボードに保存されているプリセット以外の歌詞やメモリーセットは削除されます。

No.	タイトル	作詞 / 作曲	備考
001	千本桜	黒うさ	 NextTone
002	天ノ弱	164	 NextTone
003	アスノヨゾラ哨戒班	Orangestar	--
004	チュルリラ・チュルリラ・ダッダッダ!	和田たけあき (くらげP)	--
005	サイバーサンダーサイダー	EZFG	JASRAC 出 1705211-701



作詞する

1. メニュー [Lyrics/Memory Set] → 画面スワイプで、Lyrics 画面を表示させる。
歌詞のリストが表示されます。
2. 最下部の「新規作成する」をタップする。



3. タイトルを入力して「OK」をタップする。

4. タイトルをカタカナで入力して「OK」をタップする。

リストに新しいタイトルが追加されます。

NOTE

カタカナのタイトルは、キーボードのディスプレイ表示用です。

5. 新規作成した歌詞タイトルをタップする。

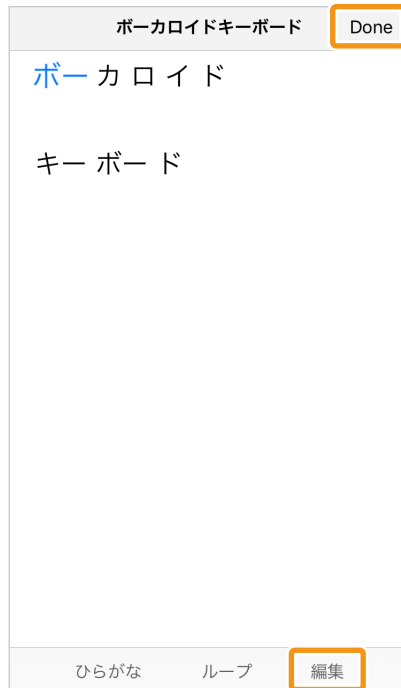
設定画面が表示されます。

6. 「編集する」をタップする。

編集画面が表示されます。

NOTE

アプリとキーボードを接続している場合は、このタイミングで編集中の歌詞情報がキーボードに一時的に転送されます。



7. 「編集」をタップして、歌詞を入力する。

歌詞はひらがなまたはカタカナで入力できます。
別文書からテキストをコピー&ペーストすることもできます。

8. 「Done」をタップして終了する。

フレーズ入力 / ループ入力 / キーオフ発音

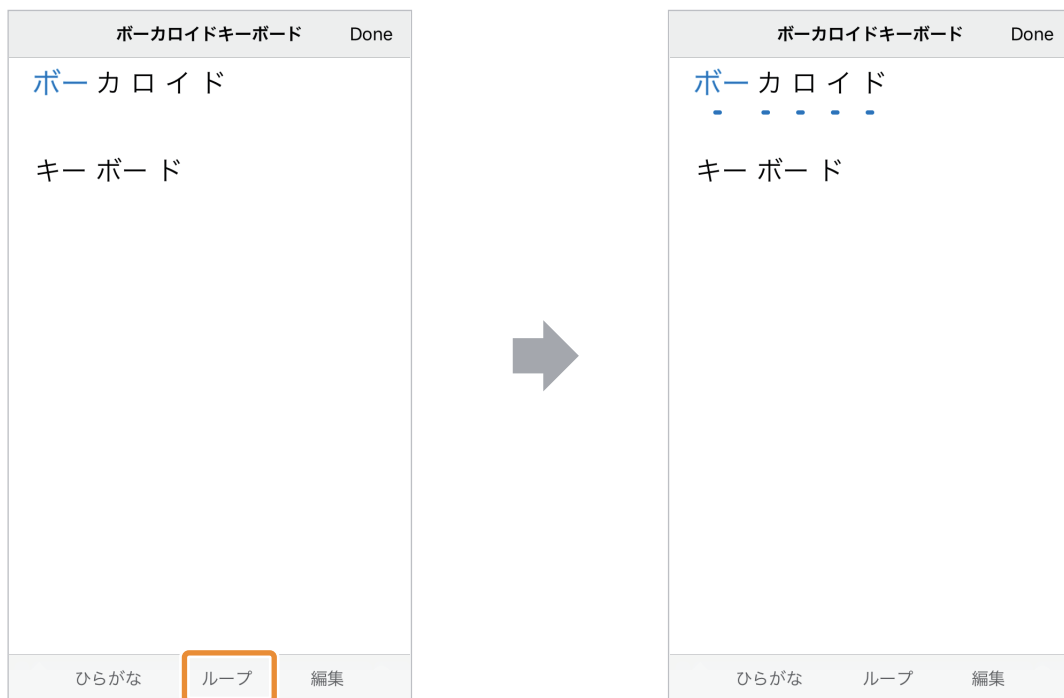
■ フレーズ入力

フレーズとは、歌詞をまとまりのよいところで区切った単位のことです。歌詞編集画面では、改行したところがフレーズの区切りになります。キーボードのディスプレイ上でも、1フレーズ1行で表示されます。

(キーボードで演奏中にフレーズを移動する方法については [24 ページ](#)参照)

■ ループ入力

ループとは、シンガーに特定の文字または同じ歌詞を繰り返し歌わせる機能です。



ループさせたい歌詞を選択した状態でタップ

ループは、歌詞編集画面であらかじめ設定できる以外にも、キーボードでリアルタイムに演奏しながら好きな部分でループさせることもできます ([24 ページ](#))。

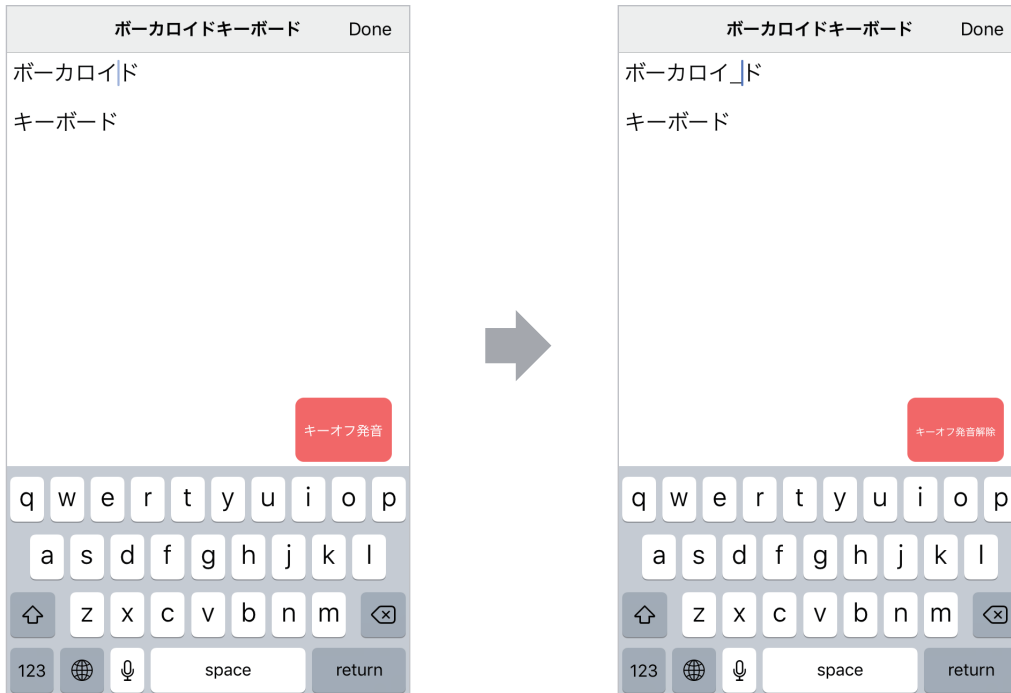
■ キーオフ発音

基本は1音1文字ですが、鍵盤を離すときに2文字目を発音させることができます(キーオフ発音)。キーオフ発音は、歌詞編集画面で設定します。

1. キーオフ発音させる文字の前にカーソルを置く。

2. 「キーオフ発音」をタップする。

キーオフ発音したい文字の前に、アンダーバー「_」が表示されます。



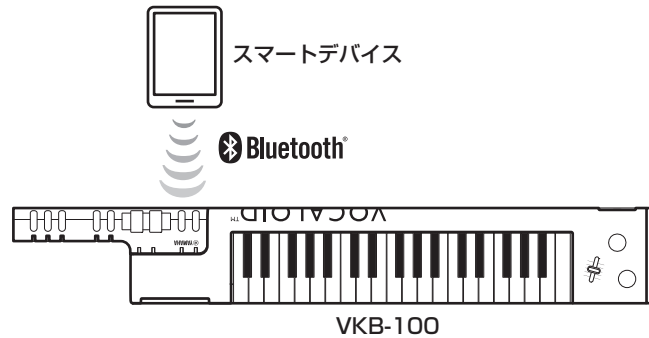
NOTE

キーボードのディスプレイでは、キーオフ発音のアンダーバーは表示されません。アプリ画面でのみ確認できます。



キーボードに保存する

あらかじめスマートデバイスとキーボードの Bluetooth 接続（または USB 接続）を済ませておく必要があります。



- 1. Lyrics 画面で歌詞を選択する。**
設定画面が表示されます。
- 2. 「キーボードに保存する」をタップする。**
キーボードの保存スロット 1 ~ 20 が表示されます。
キーボードには 20 個まで歌詞を保存できます。



- 3. スロットを指定する。**
歌詞がキーボードに保存されます。
すでに歌詞データが入っているスロット番号を選択した場合は、新しい歌詞で上書きされます。

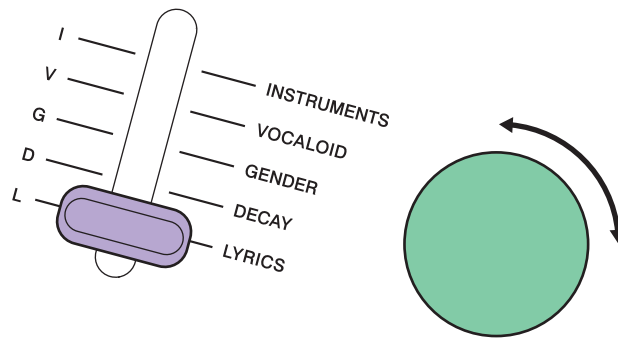
NOTE

キーボードに保存された歌詞は、キーボードの電源をオフにしても残ります。



キーボードで選ぶ

1. セレクトスライダーで「LYRICS」を選択する。
2. セレクトノブを回して歌詞を選択する。
選択した歌詞がディスプレイに表示されます。

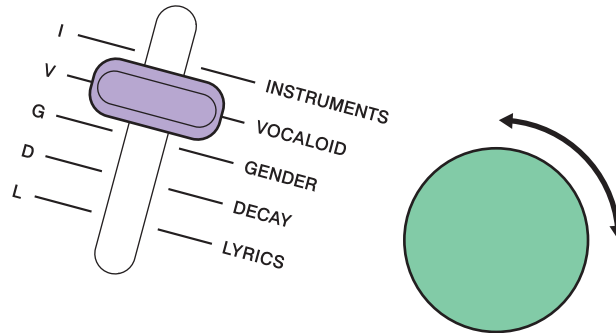




キーボードを弾く

1. セレクトスライダー「VOCALOID」→ セレクトノブで、シンガーの歌声（メモリーセット）を選択する。

選択したメモリーセット情報が、ディスプレイに表示されます。



2. メモリーボタンで、メモリーセットの中から歌声（メモリー）を選択する。

メモリーボタンを押さない場合（すべてのメモリーボタンが消灯している場合）は、MEMORY OFF の歌声が選択されます。

3. セレクトスライダー「LYRICS」→ セレクトノブで歌詞を選択する。

選択した歌詞が、ディスプレイに表示されます。

4. 弾いて歌わせる。

鍵盤を1音弾くごとに、シンガーが歌詞を1文字ずつ歌います。ディスプレイに表示される文字は、発音されるとディスプレイの左側に流れ、次に発音される文字が常にディスプレイの左上に表示されます。



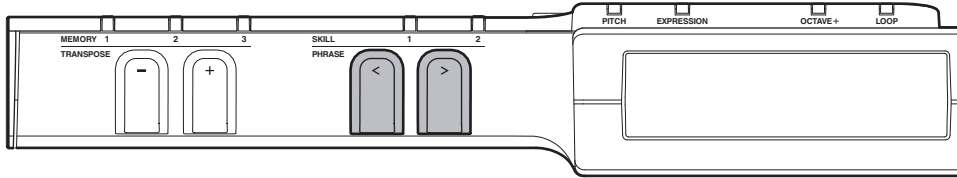
NOTE

シンガーの歌声は和音弾きには対応していません。

キーボードの演奏中に、シンガーをよりうまく歌わせる操作を紹介します。

フレーズ移動

■ PHRASE : フレーズボタン [<][>]



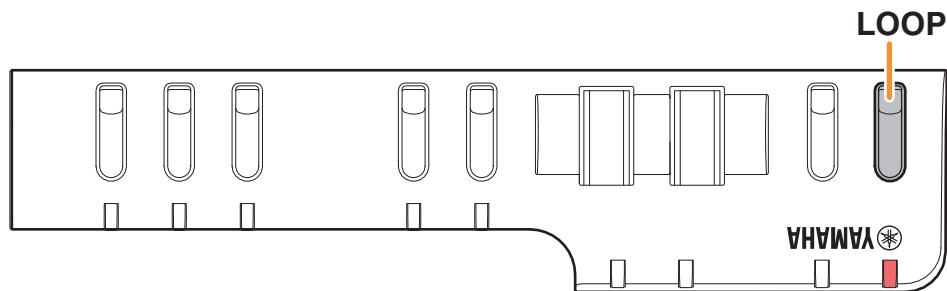
[<]	今のフレーズの先頭に戻ります。フレーズの先頭にいる場合は、前のフレーズの先頭に戻ります。
[<] 長押し	歌詞の先頭に戻ります。
[>]	次のフレーズに移動します。
[>] 長押し	押しているあいだ、歌詞は進まず、かわりにハミングをします。離すと次のフレーズに移動します (ハミング機能)。たとえば、鍵盤を弾き間違えて歌詞とメロディーがずれてしまったときに、「ららら〜」とハミングして次のフレーズに移動できます。ハミング文字は、アプリのメニュー [全体設定] → [ハミングの発音] で変更できます。

NOTE

アプリの歌詞編集画面で、改行したところがフレーズの区切りになります。

ループ操作

■ LOOP : ループボタン



アプリで設定したループの場合

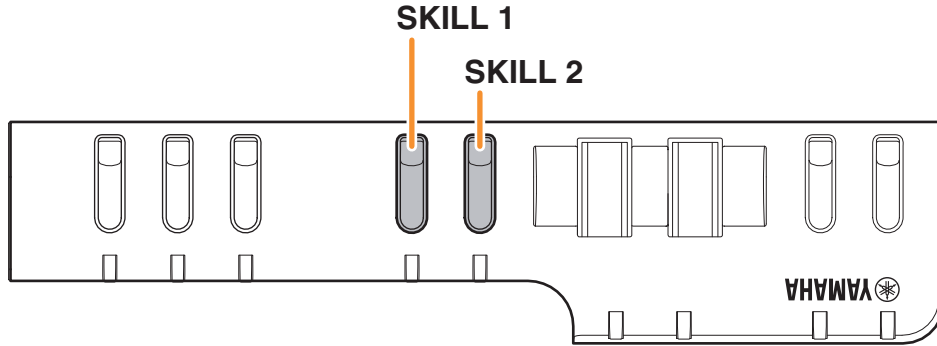
アプリでループ設定した歌詞を発音すると、ループボタンが点灯して、設定した部分が繰り返し発音されます。ループボタンを押すと解除され (消灯)、次の歌詞に移動します。(アプリでの設定の仕方については [19 ページ](#))

演奏中に好きな部分をループさせる場合

一度押すと、次に発音する文字が繰り返され (点灯)、もう一度押すと解除されます (消灯)。また、押しながら歌詞を発音させると、押している間に発音した歌詞がループされます (点灯)。もう一度押すと解除されます (消灯)。

歌声のスキル

■ SKILL : スキルボタン 1、2



スキルとは、シンガーの発音に表情をつける機能です。

アプリの歌声パラメーターでスキルを2つを選択すると ([14 ページ](#))、演奏中にキーボードのスキルボタンで操作できます。

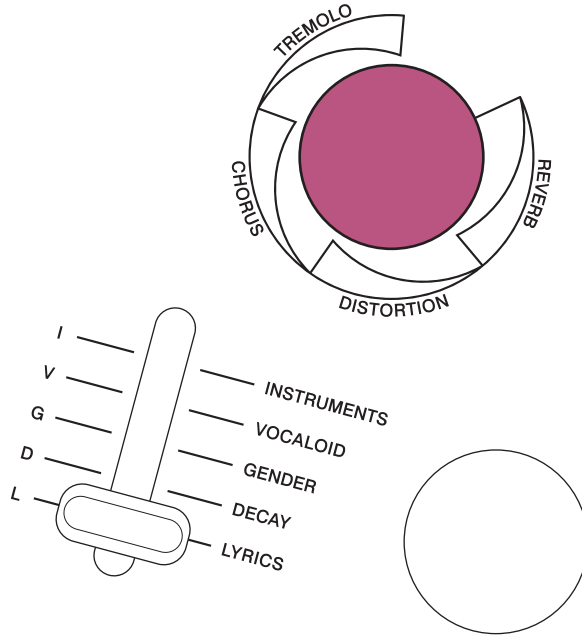
初期設定は、スキル 1 が Type A、スキル 2 が Type B です。

スキルボタン 1 と 2 で使えるスキル

名称	説明
Type A	「しゃくり」風の発音になります。
Type B	「こぶし」風の発音になります。
Type C	「巻き舌」風の発音になります。
Type D	ビブラートがかかります。

エフェクト

■ エフェクトノブ



シンガーの歌声にエフェクトをかけることができます。各エフェクトは時計方向に回すほど効果が深くかかります。ノブを反時計方向いっぱいに戻すと、エフェクトオフになります。

名称	説明
REVERB リバーブ	声に残響音を加えます。
DISTORTION ディストーション	声をひずませます。
CHORUS コーラス	声に厚みを加えます。
TREMORO トレモロ	声を小刻みにします。

NOTE

エフェクトは、メモリーセットで設定したパラメーター値が優先されます。

VOCALOID Keyboard は、歌声だけでなく、通常の楽器の音も出すことができます。



楽器音色を調整する（メモリー、メモリーセット）

楽器音色は、4つの楽器音色（メモリー）をひとまとめにした「メモリーセット」として扱われます。アプリからキーボードに楽器音色を転送するときも、楽器音色（メモリー）を1つずつ転送するのではなく、メモリーセットとして4つの楽器音色をまとめて転送します。

なぜ楽器音色（メモリー）をセットにするの？

楽器音色のメモリーセットは、シンガーの歌声メモリーセットと同じしくみです。[11 ページ](#)をご覧ください。メモリーセットをうまく使えば、1曲の中で、または複数の曲で、楽器音色を曲調に合わせてすばやく切り替えながら演奏できます。

1. Instrument Memory Set 画面で、楽器音色メモリーセットを選択する。

設定画面が表示されます。

2. 「編集する」をタップする。

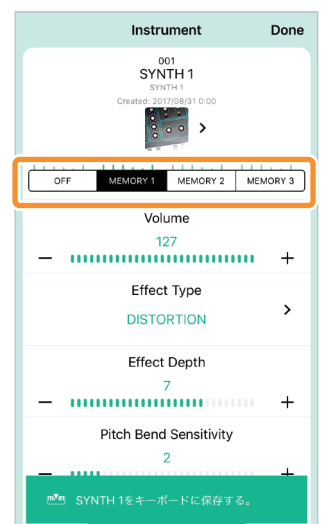
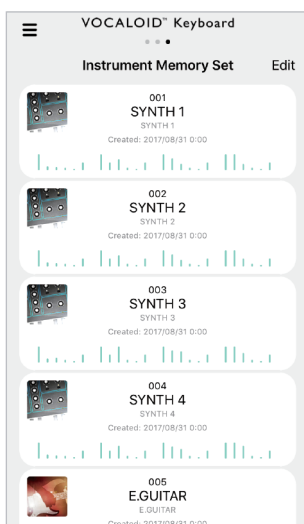
編集画面が表示されます。

NOTE

アプリとキーボードを接続している場合は、このタイミングで編集中のメモリーセット情報がキーボードに一時的に転送されます。

3. メモリーのタブをタップする。

選択したメモリーに保存される音色に関するパラメーターが表示されます。







4. パラメーターを調整する。

TIPS

MEMORY OFF と 1 ~ 3 は、あらかじめ楽器音色の特徴をいかした 4 パターンに調整されています。それぞれの初期値をもとに、お好みで調整してください。

5. 「Done」をタップして終了する。

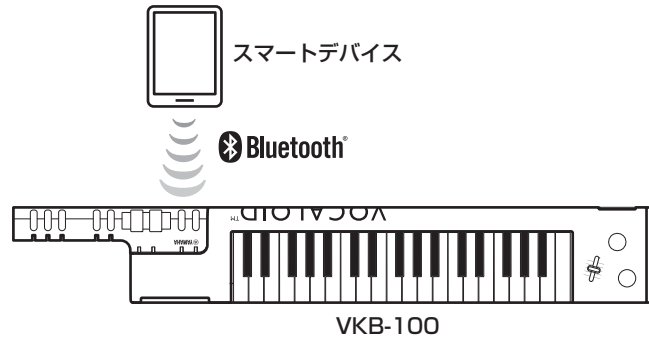
楽器音色パラメーター

パラメーター名	説明	設定値と変化
Volume 音量	音量を調整します。	—  + 音量小 音量大
Effect Type エフェクトタイプ	楽器音色にかけるエフェクトタイプを選択します。 ※キーボードのエフェクトノブでも調整できます。	OFF：エフェクトなし REVERB：音に残響音を加える DISTORTION：音をひずませる CHORUS：音に厚みを加える TREMOLO：音を小刻みにする
Effect Depth エフェクトデプス	エフェクトタイプで選択したエフェクトのかかり具合を調整します。	—  + 浅い 深い
Pitch Bend Sensitivity ピッチベンドセンシティビティ	キーボードのピッチベンドホイールで調整できるピッチ範囲を調整します。	—  + 変化なし 1オクターブ
Octave Shift オクターブシフト	音の高さ（ピッチ）を1オクターブ上げます。 ※キーボードのオクターブボタンでも変更できます。	± 0：変化なし +1：+1 オクターブ
Transpose トランスポーズ	音の高さ（ピッチ）を半音単位で上げ下げします。 ※キーボードのトランスポーズボタンでも変更できます。	—  + 下がる 上がる (最大±1オクターブまで)

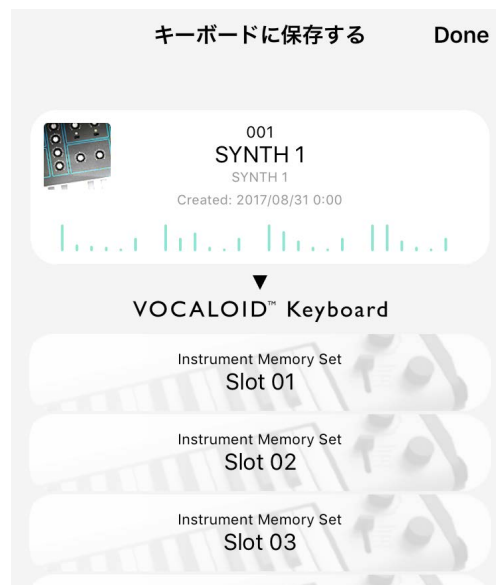


キーボードに保存する

あらかじめスマートデバイスとキーボードの Bluetooth 接続（または USB 接続）を済ませておく必要があります。



- 1. Instrument Memory Set 画面でメモリーセットを選択する。**
設定画面が表示されます。
- 2. 「キーボードに保存する」をタップする。**
キーボードの保存スロット 1 ~ 20 が表示されます。
キーボードには 20 個までメモリーセットを保存できます。



- 3. スロットを指定する。**
メモリーセットがキーボードに保存されます。
すでにメモリーセットデータが入っているスロット番号を選択した場合は、新しいメモリーセットで上書きされます。

NOTE

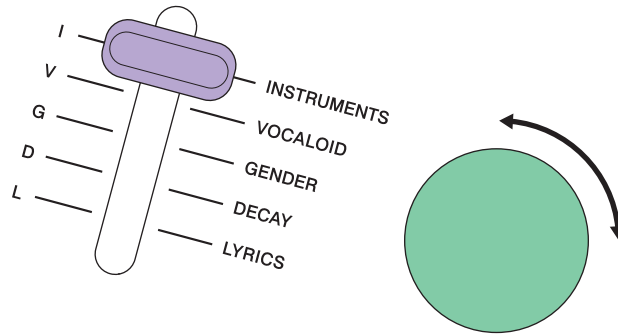
キーボードに保存されたメモリーセットは、キーボードの電源をオフにしても残ります。



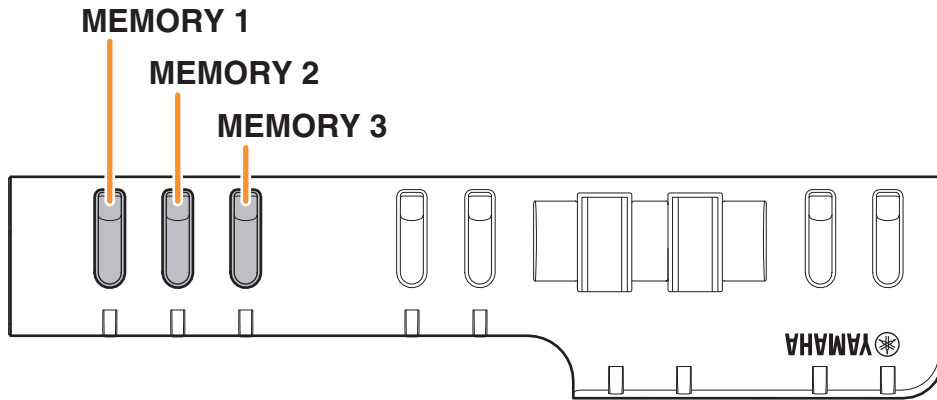
キーボードを弾く

楽器音色を選ぶには、メモリーセットを選択し、その中から楽器音色（メモリー）を選択します。

1. セレクトスライダーで「INSTRUMENTS」を選択する。
2. セレクトノブを回してメモリーセットを選択する。
選択したメモリーセット名がディスプレイに表示されます。



3. メモリーボタンでメモリーを選択する。



すべてのメモリーボタンが消灯 = **MEMORY OFF** の音色を選択している状態

4. 演奏する。

NOTE

楽器音色の演奏中は、フレーズボタンとループボタンは機能しません。

楽器音色のスキル

楽器音色を選択中、キーボードのスキルボタン 1、2 は以下のように機能します。

ボタン	機能	説明
スキルボタン 1	サステイン	音を長く響かせることができます。
スキルボタン 2	ポルタメント	滑らかに徐々に音程を変えながら音程移動します。

端子の使いかた

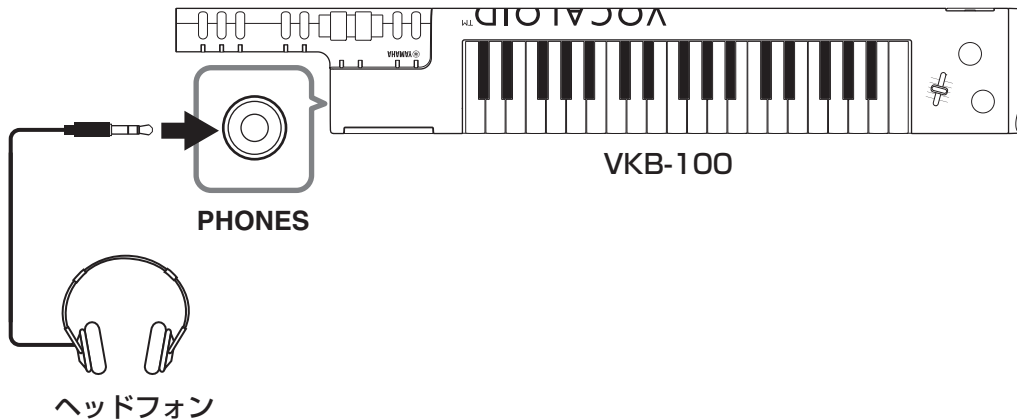
Settings

キーボードには、他の機器をつなぐための端子が5つあります。何をつなげて、いつ、どのように使うのか、説明します。



1 PHONES はヘッドフォンで練習するとき

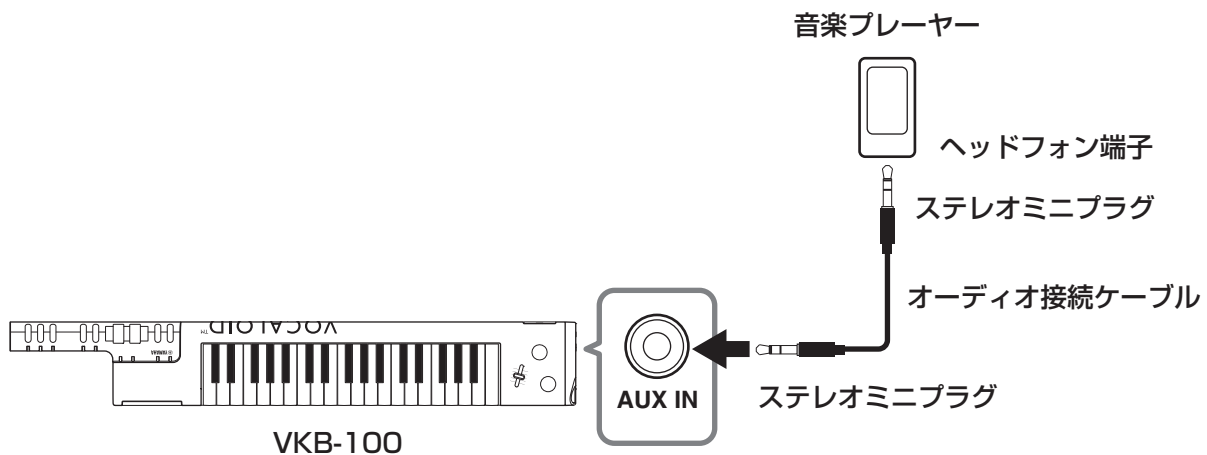
イヤフォンやヘッドフォンをつなぎます。3.5mm ステレオミニフォン出力端子です。ヘッドフォンを接続すると内蔵スピーカーからは音が出なくなります。ただし LINE OUT から音が出ます。



2 AUX IN はカラオケと一緒に歌わせるとき

携帯音楽プレーヤーなどのオーディオ機器のヘッドフォン端子をつなぎます。3.5mm ステレオミニフォン入力端子です。

たとえば、音楽プレーヤーでカラオケ音源を流しながら鍵盤を弾いてシンガーを歌わせるときはこの端子を使います。オーディオ機器の音も、キーボード本体の内蔵スピーカーから一緒に聴こえてきます。



注記

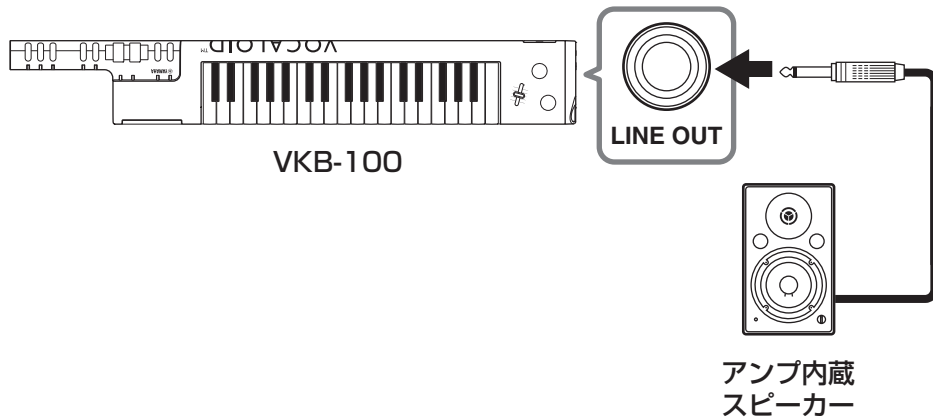
機器の損傷を防ぐために、オーディオ機器→キーボードの順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順で行なってください。

NOTE

- オーディオ機器の音量は、オーディオ機器側で調整してください。
- オーディオ接続ケーブルおよび変換プラグは、抵抗のないものをお使いください。

3 LINE OUT はライブで大音量を出すとき

アンプ内蔵スピーカーなどの外部機器とつないで、外部から大きな迫力のある音を出すときに使います。6.3mm モノラル標準フォーン出力端子です。AUX IN から入った音も一緒に出ます。



注記

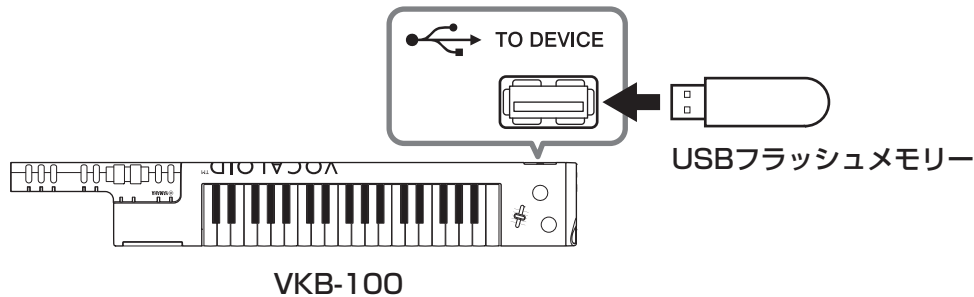
- 機器の損傷を防ぐために、キーボード → 外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順で行なってください。オートパワーオフ機能により、自動的に電源が切れることがあります。外部機器を接続した状態で、一定時間本体を操作しないときは、この手順に従って手動で電源を切るか、オートパワーオフを解除してください(39 ページ)。
- LINE OUT から出した音を、AUX IN に戻さないでください (LINE OUT から外部オーディオ機器に接続したときは、その機器からふたたびキーボード本体の AUX IN に接続しないでください)。キーボード本体の AUX IN から入った音はそのまま LINE OUT から出ますので、オーディオ系の発振が起こり、正常な再生がなされないばかりでなく、両機器の故障の原因になります。

NOTE

- LINE OUT に外部機器を接続した状態でも、内蔵スピーカーからは音が出ます。スピーカーから音を出さないようにするには、アプリの全体設定 → 「楽器のスピーカー出力」をオフにしてください。
- LINE OUT の音量は、キーボードのマスターボリュームを回しても変化しません。
- アンプ側の入力端子がピン端子など、形状が合わないときは、変換プラグを使って接続してください。
- オーディオ接続ケーブルおよび変換プラグは、抵抗のないものをお使いください。

4 USB TO DEVICE はアップデートのとき

USB フラッシュメモリーを差して、キーボードのファームウェアをアップデートするときに使います。



ファームウェアのアップデート

キーボードの機能や操作性向上のために、予告なくファームウェアをアップデートすることがあります。製品の機能を十分に生かしてお楽しみいただくため、最新バージョンにアップデートすることをおすすめします。最新のファームウェアは、下記ウェブサイトからダウンロードすることができます。

ヤマハダウンロード

<http://download.yamaha.com/jp>

(サイト内で「VKB-100」で検索)

USB フラッシュメモリー以外の USB 機器 (USB ハブ、マウス、コンピューターのキーボードなど) は、[•⇄] TO DEVICE に接続しても使えません。

また、USB フラッシュメモリーは、ファームウェアのアップデートにしか使用できません。データの保存、読み込み、録音、再生などはできません。

■ 使用できる USB フラッシュメモリー

このキーボードでは、USB1.1 ~ 2.0 の USB フラッシュメモリーが使用できますが、アップデートにかかる時間は、データの種類やキーボードの状態により異なります。

動作確認済み USB フラッシュメモリーについては、ご購入の前にインターネット上の下記 URL で確認してください。


<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/>

注記


[•⇄] TO DEVICE の定格は、最大 5V/500mA です。定格を超える USB フラッシュメモリーは故障の原因になるため使用しないでください。

Settings

■ USB フラッシュメモリーの取り扱い

[] TO DEVICE の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。同時に使用できる USB フラッシュメモリーは1つのみです。

注記

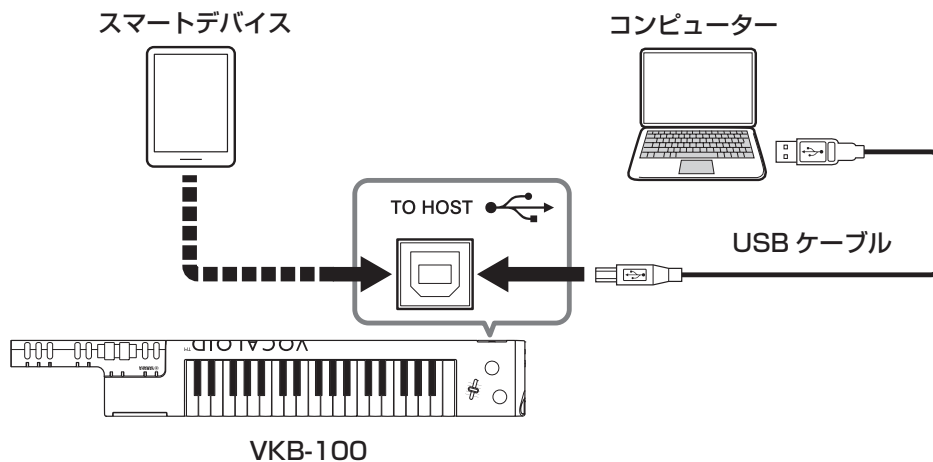
- USB フラッシュメモリーへのアクセス中は、キーボードの電源を切ったり、USB フラッシュメモリーを抜き差ししないください。キーボード本体の機能が停止したり、USB フラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。
- USB フラッシュメモリーの抜き差しは、数秒間隔を空けて行ってください。
- [] TO DEVICE と接続する USB フラッシュメモリーの間をケーブルなどで延長することはできません。

NOTE

USB フラッシュメモリーの取り扱いについては、お使いの USB フラッシュメモリーの取扱説明書をご覧ください。

5 USB TO HOST は…

この端子の使用目的は2つあります。1つは、専用アプリの入ったスマートデバイスとキーボードを Bluetooth 接続する代わりに、この端子を使って USB ケーブルでつなぎます。2つめは、キーボードを MIDI キーボードとして使いたい場合に、この端子を使ってコンピューターとキーボードを USB ケーブルでつなぎます。



NOTE

キーボードとコンピューターを USB ケーブルで接続しているあいだは、キーボードとスマートデバイスを Bluetooth 接続できません。

USB TO HOST 端子でスマートデバイスやコンピューターと接続するときは、デバイス、コンピューターや本体の停止(ハングアップ)によるデータの損失を防ぐため、以下のことを行なってください。

注記

- USB ケーブルを使って接続する場合は、AB タイプのものをご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB3.0 ケーブルは、ご使用できません。
- 本体の電源オン/オフや USB ケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - 本体からデータが送信されていないか確認してください。(鍵盤を演奏しても、本体からデータが送信されます。)
- 本体の電源オン/オフや USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行ってください。

スマートデバイス、コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動するか、本体の電源を入れ直してください。

スマートデバイスと USB 接続するとき

USB ケーブルでつなぐ場合に必要なものは、デバイスの種類によって異なります。

■ iOS デバイスの場合

- ・ USB ケーブル (Type A - Type B)
- ・ カメラアダプター

■ Android デバイスでコネクタが USB micro USB の場合

- ・ USB ケーブル (Type A オス - Type B オス)
- ・ OTG 変換アダプター (micro B オス - Type A メス)

■ Android デバイスでコネクタが USB Type C の場合

- ・ USB ケーブル (Type A オス - Type B オス)
- ・ OTG 変換アダプター (Type C オス - Type A メス)

MIDI キーボードとして使うとき

1. アプリのメニュー [全体設定] → 「MIDI キーボード」をオンにする。
設定した情報は、すぐにキーボードに反映されます。
2. キーボードをコンピューターとつなぐ。

NOTE

- ・ キーボード本体は、USB 接続後しばらくしてから通信を開始します。
- ・ キーボードとコンピューターを USB ケーブルで接続するときは、ハブを経由せず直接接続してください。
- ・ 使用するコンピューターやシーケンスソフトウェアでの必要な MIDI 設定については、それぞれの取扱説明書をお読みください。
- ・ USB 無線 LAN アダプターではコンピューターには接続できません。
- ・ MIDI に関する情報 (送信チャンネルや、送信するデータの内容など) は、MIDI インプリメントチャート ([42 ページ](#)) をご覧ください。

全体設定

Settings

キーボードのシステムに関する全体設定もアプリのメニュー [全体設定] から行ないます。アプリで変更した内容は、即時キーボードに反映されます。



アプリから
キーボードのシステム設定をします

■ イコライザー

キーボード本体のスピーカーやヘッドフォン、外部スピーカーなどで鳴らすサウンドを、最も聞きやすい音に設定します。

Flat	そのままの音を聞く場合に選びます。
Boost	より迫力のある音質が得られます。ただし、選択する歌声や楽器音などの種類によっては他のタイプより、音がひずみやすくなります。
Bright	中域を抑えて音の印象を明るくします。
Mild	高域を抑えて音の印象を柔らかくします。

■ ミスタッチ検出時間

たとえば、鍵盤を弾いたときに間違っとなり隣の鍵盤まで一緒に触れてしまった場合、通常の楽器ではちがう音が鳴るだけですが、VOCALOIDの歌声では歌詞が1文字進んでしまいます。これを避けるために、1音目を弾いてから2音目を弾くまでの時間がここで設定した時間よりも短いときは、ミスタッチと判定して、2音目を発音させない機能がついています。これを「ミスタッチ検出機能」と呼びます。

設定単位の 10msec は 0.01 秒です。

NOTE

この設定は歌声にのみ反映されます。時間設定をしても楽器音色には反映されません。

■ ハミング文字

ハミングの発音文字を設定します。(ハミング機能については [24 ページ](#))

Settings

■ マスターチューン

ピアノなど、チューニングを変更できない他の楽器とアンサンブルする場合に、キーボードのチューニングを 0.2Hz 単位で調整します。通常は 440.0Hz です。

NOTE

ここでの設定はキーボードに保存されません。キーボードの電源を切ると 440.0Hz に戻ります。

■ 電池の種類

キーボードで使用する電池に応じて、設定を変更します。

■ オートパワーオフ時間

オートパワーオフとは、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。
電源が自動的に切れるまでの時間が変更できます。

■ MIDI チャンネル

キーボードを MIDI キーボードとして使用する場合は MIDI 送信チャンネルを設定します。

■ MIDI キーボード

キーボードを MIDI キーボードとして使用する場合は、この設定をオンにします ([37 ページ](#))。

NOTE

ここでの設定はキーボードに保存されません。キーボードの電源を切るとオフ設定に戻ります。

■ キーボードのスピーカー出力

キーボードの本体スピーカーから音を出さないようにするには、この設定をオフにします。たとえば、LINE OUT に外部スピーカーを接続したときに本体スピーカーから音を出さないようにオフにします。

NOTE

ここでの設定はキーボードに保存されません。キーボードの電源を切ると、オン設定に戻ります。

■ MIDI 送信インターバル

キーボードからアプリにデータを送る場合に、アプリがインストールされているスマートデバイスのスペックによっては、データの受信が遅くなったり、正常に受信できないことがあります。この設定でデータ送信のタイミングを調整することで改善されることがあります。

困ったときは

Appendix

Q. 音が鳴らない。

A. マスターボリュームダイヤルまたはエクスペッションホイールを動かして、音量を上げてください。

Q. AUX IN につないだオーディオ機器の音が鳴らない。

A. オーディオ機器の音量はオーディオ機器側で調整します。接続しているオーディオ機器のボリュームを上げてください。

Q. 電源が勝手に切れる。

A. 故障ではありません。オートパワーオフ機能が働いたためです。オートパワーオフ機能を使用しない場合は、アプリの全体設定でオートパワーオフを OFF に設定してください ([39 ページ](#))。

Q. スマートデバイスを使っているときに、キーボードからノイズが出る。

A. スマートデバイスのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。

Q. Bluetooth 接続できない。

A. アプリがインストールされているスマートデバイスの Bluetooth 機能がオンになっているか確認してください。

A. アプリのメニュー [全体設定] → 「Bluetooth 接続」をオンにしてください ([5 ページ](#))。

A. 別のスマートデバイスとキーボードが Bluetooth 接続されていないか確認してください。この場合は、スマートデバイスの Bluetooth 機能をオフにしてから、使用したいスマートデバイスと接続し直してください。

Q. アプリからデータを送信できない。

A. キーボードと PC を USB 接続しているあいだは、キーボードとスマートデバイスを Bluetooth 接続できません。アプリからデータを送信するときは、その他の機器を USB 接続しないでください。

A. Bluetooth 接続 (または USB 接続) がオンになっているのにデータが正しく送受信できない場合は、アプリがインストールされているスマートデバイスのスペックに原因のある場合があります。アプリのメニュー [全体設定] → 「MIDI 送信インターバル」の設定を変更することで、解消される場合があります ([39 ページ](#))。

A. お使いのデバイスが VOCALOID Keyboard アプリと対応しているかご確認ください ([4 ページ](#))。

Appendix

Q. MIDI キーボードとして認識されない。

A. アプリとキーボードを接続した状態で、アプリのメニュー [全体設定] → 「MIDI キーボード」 をオンにしてください ([39 ページ](#))。

Q. ディスプレイに「！」と表示される。また、USB 機器が動作しない。

A. USB 機器に過電流が流れたため、USB 機器との通信を停止しました。USB 機器を [🔌] TO DEVICE から抜き、本体の電源を入れ直してください。

ヤマハウェブサイト「よくあるお問い合わせ (Q&A)」 (<https://yamaha.custhelp.com/>) もご確認ください。

MIDI インプリメントチャート



Appendix

YAMAHA [Portable Keyboard]
 Model VKB-100 MIDI Implementation Chart
 Normal Mode

Date :31-Aug-2017
 Version : 1.0

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed	X X	X X	
Mode Default Messages Altered	X X *****	X X X	
Note Number : True voice	X *****	X X	
Velocity Note ON Note OFF	X X	X X	
After Touch Key's Ch's	X X	X X	
Pitch Bend	X	X	
Control Change	X	X	
System Exclusive	O	O	
Common : Song Pos. : Song Sel. : Tune	X X X	X X X	
System : Clock Real Time: Commands	X X	X X	
Aux : All Sound Off : Reset All Cntrls : Local ON/OFF Mes- : All Notes OFF sages: Active Sense : Reset	O(120) O(121) X O(123) O X	X X X X X X	
Notes:			

Mode 1 : OMNI ON , POLY
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON ,MONO
 Mode 4 : OMNI OFF,MONO

O : Yes
 X : No

Appendix

YAMAHA [Portable Keyboard]
 Model VKB-100 MIDI Implementation Chart
 MIDI Keyboard Mode

Date :31-Aug-2017
 Version : 1.0

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed	1 - 16 1 - 16	X X	
Mode Default Messages Altered	X X *****	X X X	
Note Number : True voice	36 - 108 *****	X X	
Velocity Note ON Note OFF	0 9nH, v=1-127 X	X X	
After Touch Key's Ch's	X X	X X	
Pitch Bend	0	X	
Control Change	5 0 11 0 65 0 72 0	X X X X	Portamento Time Expression Portamento Release Time
System Exclusive	X	0	
Common : Song Pos. : Song Sel. : Tune	X X X	X X X	
System Real Time: Clock Commands	X X	X X	
Aux : All Sound Off : Reset All Cntrls : Local ON/OFF Mes- : All Notes OFF sages: Active Sense : Reset	0(120) 0(121) X 0(123) 0 X	X X X X X X	
Notes:			

Mode 1 : OMNI ON , POLY Mode 2 : OMNI ON , MONO 0 : Yes
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY Mode 4 : OMNI OFF, MONO X : No

Appendix

- 市販の音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- このソフトウェアおよびマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このファイルに掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合があります。
- Apple、iTunes、Mac、Macintosh、iPhone、iPad、iPod touch、Lightning は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Android、Google Play は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- IOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- その他、このファイルに掲載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。